

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年	
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	03 広域行政
事務事業名		01	広域振興協議会等運営事業
		根拠法令・例規等	
		担当課(室)	企画課
		職・氏名	企画政策係係長・田原義大
		電話	0869-64-1871
		このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	岡山県南広域圏、兵庫・岡山両県境隣接市町村、苫田ダム水源地域等で生活する住民
目的(何のために)	・広域的な行政課題の解決や効率的なサービスの提供 ・関係市町村との連携による情報交換
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	広域的な行政課題の解決、広域行政機構の充実・強化・共同事務処理の推進

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	県南広域市町村圏振興協議会負担金	H21年11月30日をもって廃止。	
	兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会負担金	岡山・兵庫の県境に隣接する市町村が連携し、国や県等に対して行う要望活動にかかる経費。研修会への参加。	
	空路利用促進会負担金	岡山空港の利用促進のために行うPR事業等の経費。	
	苫田ダム水源地域振興事業負担金	苫田ダム等の建設に伴い必要となる水没関係住民の生活再建対策と振興対策にかかる経費。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		731	844	772
	必要人員(人件費)	千円	0.05人	0.17人	0.07人
	事業費計		1,193	2,477	1,427
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他()					
一般財源					
受益者負担比率	%	1,193	2,477	1,427	
			-	-	-
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
合同要望会・研修会開催回数	説明		兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会における合同要望会、研修会の開催回数		
結果指標量	事業		3	3	2
対前年比	%		100%	100.0%	66.7%
活動コスト			482,000	78,000	207,000
単位当たりコスト	円		160,667	26,000	103,500

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
	目標値(A)				
	実績値(B)				到達目標値
	達成率(B/A)				
成果指標設定の考え方・式や説明					
協議会負担金支出。要望活動の実施。行政間連携。					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> C
	市民参画度		

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	苫田ダム水源地域振興事業負担金が事業費の大部分である。水没関係住民の生活環境再建事業を吉井川水系の受益市町村が負担している。岡山県南広域市町村圏振興協議会は、H21.3.31「広域行政圏計画策定要綱」の廃止に伴い解散となった。 H21年8月、美作市、兵庫県佐用町で発生した水害の復旧作業に兵庫・岡山両県境災害相互応援協定に基づく職員派遣を実施している。					

総合評価	
近隣市町村で共通の行政課題や広域的な問題の解決に向けて協議会を設置し、取り組んでいる。広域的に取り組まなければ成果が上がらない課題については、積極的にその枠組を模索し、その各地域の特性と全地域のスケールメリットを生かし、相互に補完し合いながら効率的に地域の発展を図り、分権型社会にふさわしい行政基盤の構築に繋げて行く必要がある。	評価区分 <A-E> C

平成23年度の方針性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	近隣市町との連携強化を図り、共通課題の掘り起こしとその解決を目指す。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
 留意の目的が、その数値目標であること、下向きに評価されること